

# 第302号 月刊 オムスワ

オムスワはOkayama Medical Social Worker Association の頭文字の略語です。

岡山県医療ソーシャルワーカー協会事務局：玉島病院内 倉敷市玉島乙島 4030

<http://www.omswa.org/>

 もうすぐ小暑 一年で最も暑い時期へと突入します。

熱中症・脱水症には十分お気をつけください。



## 研修会のお知らせ

### 【基礎コース】

1年目第2回研修

日時：2019年7月27日（土） 13：30～16：00（受付：13：00～）

場所：岡山中央病院 2階セミナー室（駐車場は岡山中央病院の駐車場をご利用ください）

内容：記録について

講師：津山第一病院 川口友之氏

対象：2019年度基礎コース研修受講者（1年目）

☆上記の研修に参加される方で施設長宛に公文書が必要な方はかとう内科並木通り診療所の横山までご連絡ください。

TEL086-264-8855（代表）メール [namiki03@kato-namiki.or.jp](mailto:namiki03@kato-namiki.or.jp)

## 2019年度年報投稿論文募集のお知らせ

2019年度年報「岡山県医療ソーシャルワークVol. 26」に掲載する論文を募集します。

投稿希望者は、まず下記の投稿規程をご確認の上、8月15日必着で「論文タイトル」「執筆する会員の所属機関と氏名」「共同研究者の所属機関と氏名」を郵送またはFAXにて送付してください。（任意の用紙に記入）ふるってご応募ください。論文草稿の提出は9月末までをお願いします。尚、論文審査会の審査を経て、掲載可否等を決定することになりますのでご了承ください。

応募先：倉敷中央病院 医療福祉相談室 長瀬紀子

送付先：〒710-8602 倉敷市美和1-1-1 FAX：086-422-5021

### 岡山県医療ソーシャルワーカー協会年報投稿規程

1. 寄稿者は岡山県医療ソーシャルワーカー協会 A 会員である者に限る。  
但し、A 会員を中心とした共同研究については A 会員以外の者を含むことが出来るが A 会員以外の者の職種・所属を記載しなくてはならない。
2. 投稿原稿は、和文及び英文の総説、原著、症例及び短報で、他紙及び他学会等に未発表のものに限る。
3. 投稿論文掲載の可否は論文審査会で決定する。論文審査会は、会長・副会長・事務局長・広報出版理事等で構成する。
4. 3. 以外の原稿の採択及び掲載様式は広報出版部で決定する。

なお、論文執筆にあたっては、年報「OMSWA 岡山医療ソーシャルワーク」および、協会ホームページに掲載している執筆要綱をご確認ください。

## 事務局からのお知らせ

### 【他団体からの研修会のお知らせ】

プライマリ・ケア講座 東日本大震災一復興への道一

日時：2019年7月7日（日）13：30～15：00

場所：岡山県医師会館 4階401会議室（岡山市駅元町19番2号）

参加費：会員（岡山プライマリ・ケア学会、岡山県医師会）無料 非会員 500円

問合せ：岡山プライマリ・ケア学会 TEL：086-250-5111

※参加申込期限は6/28ですが、当日受け付けも可能とのことです。



以下の会員情報についてはホームページ上では掲載しません。

## 会員の異動

【入会 A 会員】

【退会 A 会員】

【会員登録変更】

## 【会員名簿について】

会員名簿を同封しています。

間違いや訂正が必要な箇所がありましたら、事務局までご連絡ください。

※会員名簿で所属機関の会員を再度ご確認ください、退職されている方については所属機関の代理の方で退会手続きをお願いいたします。

## 新人紹介



### 認知症サポーター

#### ◎認知症サポーター

平成17年度から国の「認知症を知り、地域をつくる10カ年」キャンペーンの一環として養成開始されました。認知症サポーター養成講座では、「認知症とはどのようなものか」「認知症の症状について（中核症状と周辺症状）」「認知症の方に接する時の心構えと介護者の気持ちの理解について」等について学ぶことができ、受講後は認知症を支援する「目印」として、プレスレット（オレンジリング）を提供されます。認知症サポーター数は、全国で合計11,442,490人です。（平成30年度末現在）

#### ◎認知症サポーターとは、なにをする人なの？

認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではありません。

- ・認知症を正しく理解する。
- ・認知症の人や家族に対して温かい目で見守る。  
→認知症の人や、その家族を支援する応援者であることが期待されます。

#### ◎認知症サポーター養成講座を受講するには

認知症サポーター養成講座を受講を希望される方は、最寄りの自治体事務局へご相談ください。

認知症の方にやさしい地域づくりのために、あなたも認知症サポーターになってみませんか？

### 倉敷市安心おかえりシール交付開始

倉敷市では、認知症の高齢者等が外出後に行方不明になられた時に、できるだけ速やかに身元確認ができ、ご本人やご家族、介護者の方の負担の軽減を目的にQRコード付き「倉敷市安心おかえりシール」の交付を始めました。「倉敷市安心おかえりシール」が無料で50枚交付されます。（対洗ラベル40枚、蓄光シール10枚）  
※シールを追加で希望する場合は利用者負担が生じます。

QRコードの読みとり機能がある携帯電話・スマートフォンであれば、特別なアプリ等は必要なしに、伝言板を使用してのやりとりで、個人を特定する情報は必要としません。

- 流れ
- ①家族・介護者等が、事前申請し、初期登録。シールを洋服等に貼付。
  - ②家族・介護者等が、行方不明になった旨を伝言板に入力。
  - ③発見者が、シールのQRコードにアクセス。登録情報の確認。発見場所の入力・送信。
  - ④家族・介護者等が、通知メールを受け取る。伝言板でやりとり。
  - ⑤家族・介護者等によるお迎え。身元確認・引き渡し

問い合わせ先 倉敷市健康長寿課地域包括ケア推進室 電話（086）426-3417

☆今月の担当は、溝手（済生会吉備病院）、木口（金光病院）、森川（倉敷第一病院）でした。  
8月号の担当は、田中（渡辺胃腸科外科病院）、岡部（玉島中央病院）、中野（倉敷記念病院）です。  
尚、原稿を依頼される場合は、中野（倉敷記念病院）のメールアドレスまでお送りください。

締め切り 7月20日（土）必着 中野 renkei@seiwakai-net.or.jp